

[Aコース (限定為替ヘッジ)]

第51期末(2023年10月26日)	
償 還 価 額	9,842円70銭
純 資 産 総 額	107百万円
第51期	
騰 落 率	△ 7.3%
分配金(税込み)合計	-円

[Bコース (為替ヘッジなし)]

第51期末(2023年10月26日)	
償 還 価 額	12,900円76銭
純 資 産 総 額	822百万円
第51期	
騰 落 率	0.5%
分配金(税込み)合計	-円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 当ファンドは、投資信託約款において償還運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」、「償還ファンド一覧」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「償還運用報告書(全体版)」を選択いただきますと償還運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での償還運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ピクテ欧州ファンド Aコース(限定為替ヘッジ) Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

第51期(償還日2023年10月26日)

作成対象期間：2023年4月28日～2023年10月26日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ欧州ファンドAコース(限定為替ヘッジ)、Bコース(為替ヘッジなし)」は、それぞれ繰上償還を行いました。

各ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じ、主に欧州各国の株式に投資し、信託財産の長期的成長を図ることを目的としております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況と償還の内容をご報告申し上げますとともに、償還までのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

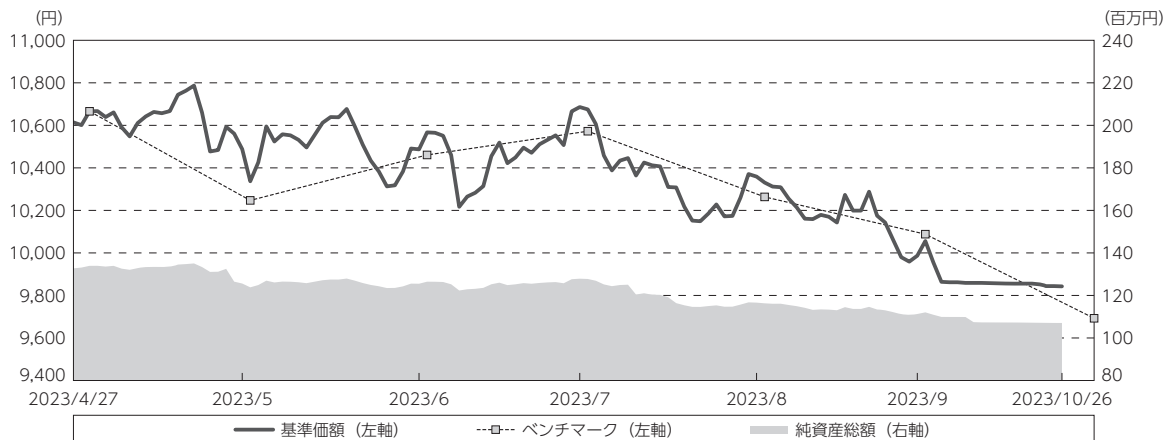
受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

運用経過

Aコース(限定為替ヘッジ)

基準価額等の推移



期 首：10,614円
 期末(償還日)：9,842円70銭(既払分配金(税込み)：-円)
 騰 落 率：△ 7.3%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数(円ヘッジ指数)です。データ取得の都合上、2023年5月1日の基準価額に合わせて指数化し、各月初(償還日は2023年11月1日分)のみ表示しており、その間の動きは便宜上破線で示しています。

基準価額の主な変動要因

- 下落↓・実質的に組入れているワールドライン(フランス、金融サービス)、フィナンシエール・リシュモン(スイス、耐久消費財・アパレル)などの株価が下落したこと
- 下落↓・為替ヘッジコスト

Aコース(限定為替ヘッジ)

1万口当たりの費用明細

(2023年4月28日～2023年10月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	88	0.848	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(43)	(0.410)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.383)	
(受 託 会 社)	(6)	(0.055)	
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.005)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.006)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	9	0.088	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.073)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(そ の 他)	(2)	(0.014)	
合 計	99	0.947	
期中の平均基準価額は、10,434円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

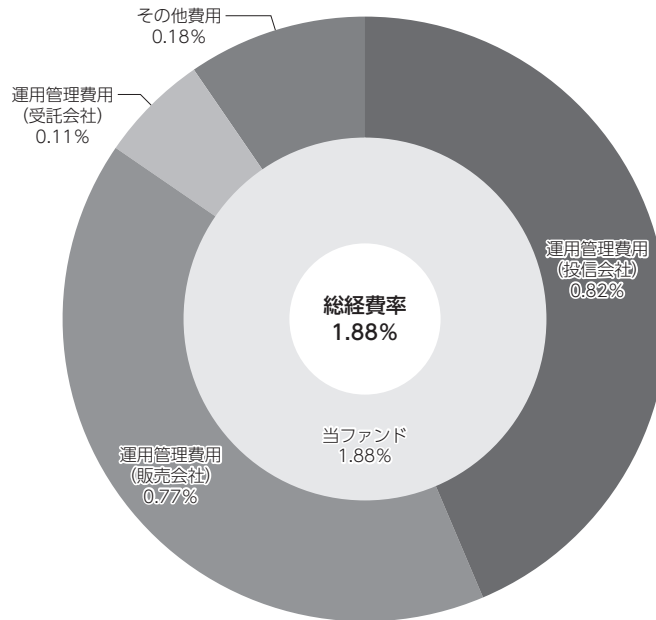
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

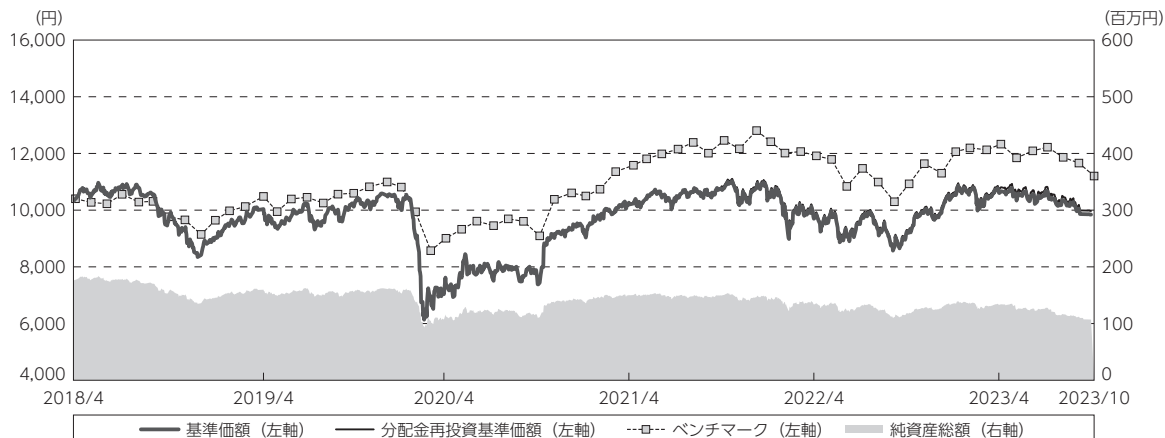
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Aコース(限定為替ヘッジ)

最近5年間の基準価額等の推移 (2018年4月27日～2023年10月26日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年4月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数(円ヘッジ指数)です。データ取得の都合上、2018年5月1日の基準価額に合わせて指数化し、各月初(償還日は2023年11月1日分)のみ表示しており、その間の動きは便宜上破線で示しています。

	2018年4月27日 決算日	2019年5月7日 決算日	2020年4月27日 決算日	2021年4月27日 決算日	2022年4月27日 決算日	2023年4月27日 決算日	2023年10月26日 償還日
基準価額 (円)	10,315	10,038	7,035	10,265	9,697	10,614	9,842.70
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	80	60	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.7	△ 29.9	45.9	△ 4.8	10.1	△ 7.3
ベンチマーク騰落率 (%)	—	0.8	△ 14.1	28.6	2.9	3.5	△ 9.1
純資産総額 (百万円)	175	159	107	150	133	132	107

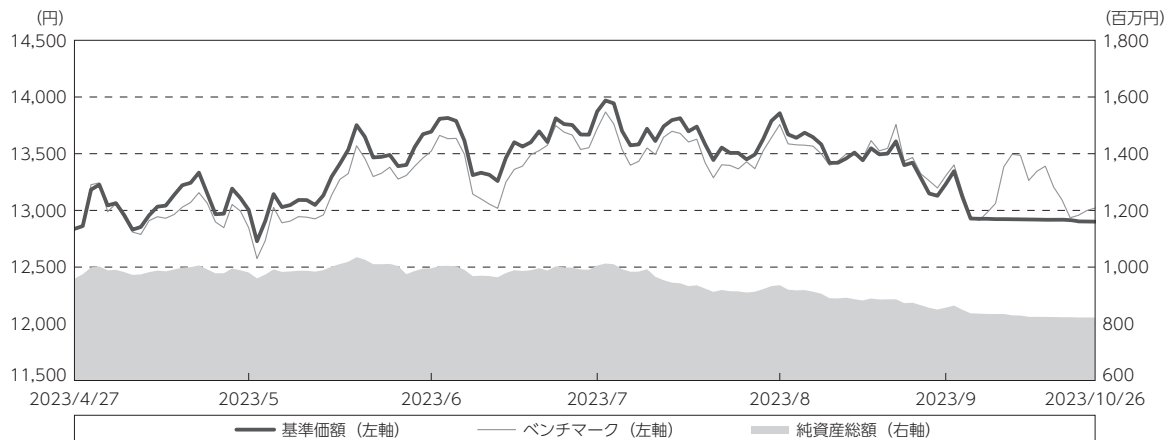
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、償還日の騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。ベンチマークはデータ取得の都合上、各決算日(償還日)の翌月初の数値を使用しております。
 (注) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数(円ヘッジ指数)です。

MSCI欧州株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

運用経過

Bコース(為替ヘッジなし)

基準価額等の推移



期 首：12,837円
 期末(償還日)：12,900円76銭 (既払分配金(税込み)：-円)
 騰 落 率： 0.5%

(注) ベンチマークは、期首(2023年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数を委託者が円換算したものです。

基準価額の主な変動要因

上昇↑・円に対してユーロなどが上昇したこと

下落↓・実質的に組入れているワールドライン(フランス、金融サービス)、フィナンシエール・リシュモン(スイス、耐久消費財・アパレル)などの株価が下落したこと

Bコース(為替ヘッジなし)

1万口当たりの費用明細

(2023年4月28日～2023年10月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	114 円	0.848 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(55)	(0.410)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販 売 会 社)	(51)	(0.383)	
(受 託 会 社)	(7)	(0.055)	
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.005)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.006)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	11	0.083	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.073)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(そ の 他)	(1)	(0.010)	
合 計	127	0.942	
期中の平均基準価額は、13,420円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

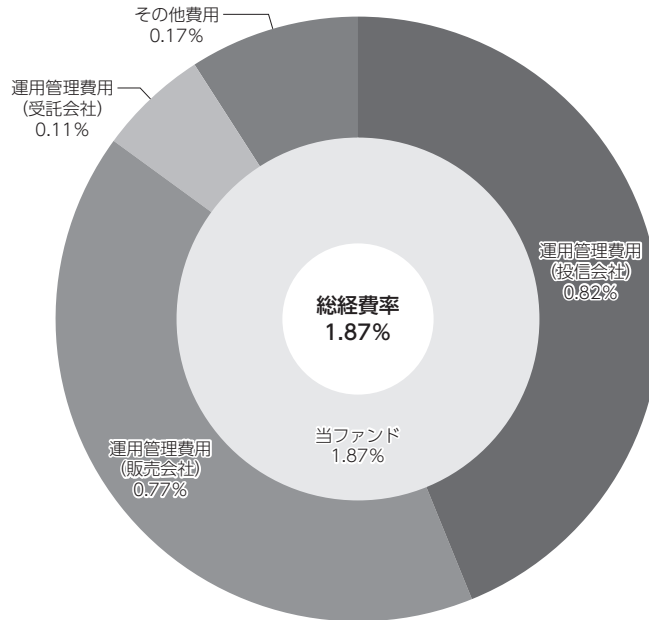
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注) 上記の費用は、「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

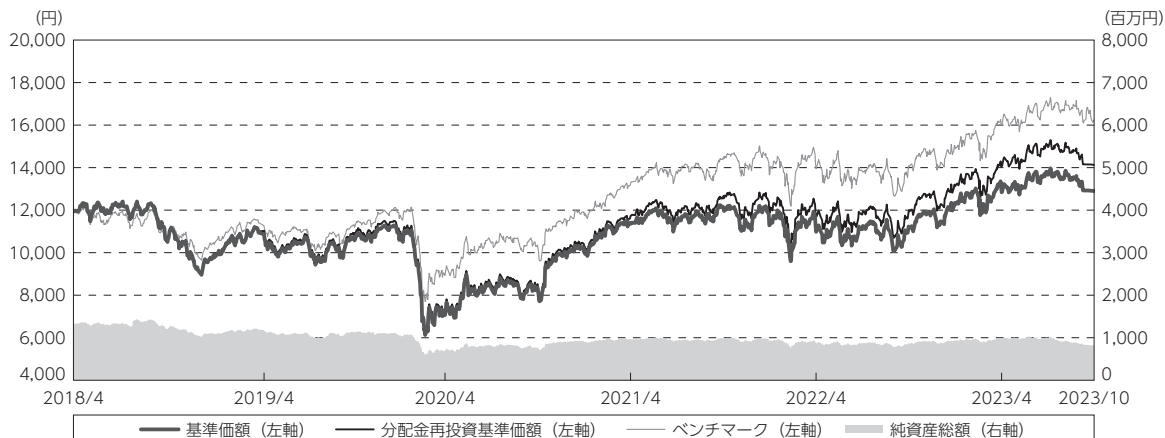
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Bコース(為替ヘッジなし)

最近5年間の基準価額等の推移 (2018年4月27日～2023年10月26日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年4月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年4月27日 決算日	2019年5月7日 決算日	2020年4月27日 決算日	2021年4月27日 決算日	2022年4月27日 決算日	2023年4月27日 決算日	2023年10月26日 償還日
基準価額 (円)	11,935	10,870	7,065	11,356	10,980	12,837	12,900.76
期間分配金合計(税込み) (円)	—	150	55	145	330	390	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.6	△ 34.7	62.8	△ 0.6	20.6	0.5
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 5.6	△ 20.7	48.3	5.3	14.8	1.4
純資産総額 (百万円)	1,315	1,179	687	968	865	959	822

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、償還日の騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。

(注) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数を委託者が円換算したものです。

投資環境

- ・ 欧州株式市場は、米銀行の破綻に端を発した金融不安が落ち着いたことや、米国の債務上限問題の解決、米国の良好な経済指標などが株価を下支えする場面がありましたが、欧米でのインフレ圧力や米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）の利上げ継続姿勢への警戒感などから、期初から2023年7月にかけてもみ合う動きとなりました。8月以降は、ユーロ圏や中国の景気の先行き不透明感や、FRBやECBなど主要中央銀行の金融引き締め政策が長期化するとの見方、欧米の金利上昇の継続や中東情勢への懸念などを背景に償還日にかけて軟調に推移しました。
- ・ 為替市場では、期初から2023年6月にかけては、インフレ圧力が継続するなかECBが追加利上げを継続する姿勢を示したことや、日本銀行の金融緩和政策の継続姿勢を背景に円安・ユーロ高傾向となりました。7月に入ると、日本銀行が一部金融政策を修正するとの見方が広がり一時円高・ユーロ安の動きとなりましたが、ECBは物価の安定化に向けて金融引き締め継続を引き続き示したことから、8月にかけて円安・ユーロ高となりました。その後償還日にかけては、ユーロ圏の経済成長見通しの下方修正や日本の金融当局による為替介入への警戒感などが円高・ユーロ安圧力となりましたが、ECBが政策金利を長期間高水準で維持する姿勢を示した一方、日本銀行が金融緩和策を維持するなど金融政策の方向性の違いは円安・ユーロ高方向に作用しました。これらの方向感の分かれる要因を受けて、円は対ユーロにおいてレンジ内でもみ合う推移となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象とするピクテ欧州ファンド・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、Aコースにおいては原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図り、Bコースにおいては為替ヘッジを行いませんでした。

なお、償還日時点においては有価証券の組入れはございません。

<ピクテ欧州ファンド・マザーファンド>

欧州各国の株式を主要投資対象とし、分散投資を行ってまいりました。

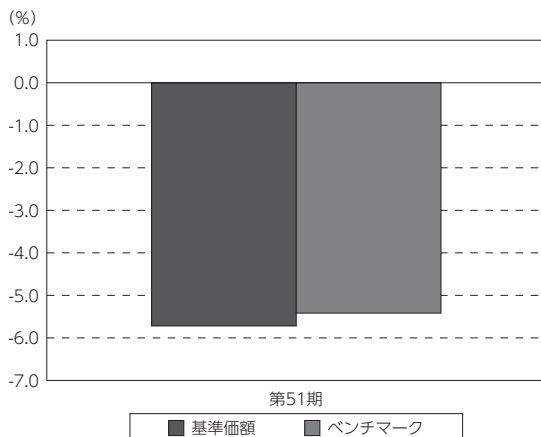
なお、当マザーファンドは2023年10月25日に償還し、同日現在においては有価証券の組入れはございません。

当該投資信託のベンチマークとの差異

- ・ Aコースの当期の基準価額は7.3%の下落となりました。2023年5月初めから10月初めまでの期間では、基準価額は5.7%の下落となり、ベンチマークの下落率5.4%を下回りました。
- ・ Bコースの当期の基準価額は0.5%の上昇となり、ベンチマークの上昇率1.4%を下回りました。
- ・ ワールドライン（フランス、金融サービス）、ウィズエア・ホールディングス（スイス、運輸）などの銘柄をベンチマークに対してオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資比率）していたことなどがマイナスの差異要因となりました。

[Aコース(限定為替ヘッジ)]

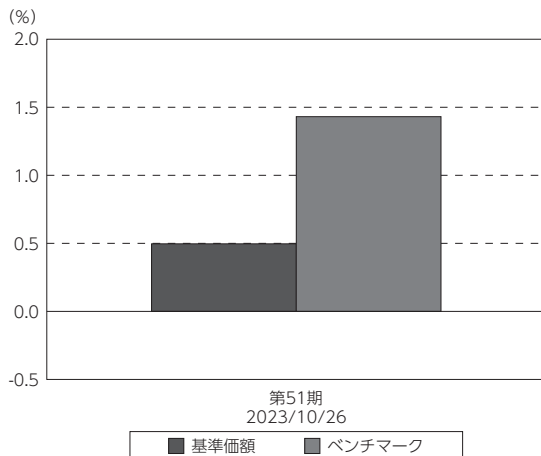
当ファンドとベンチマークの騰落率の対比



(注) ベンチマークは、MSCI 欧州株価指数（円ヘッジ指数）です。
 (注) 2022年5月初～2023年10月初

[Bコース(為替ヘッジなし)]

当ファンドとベンチマークの騰落率の対比



(注) ベンチマークは、MSCI 欧州株価指数を委託者が円換算したものです。

お知らせ

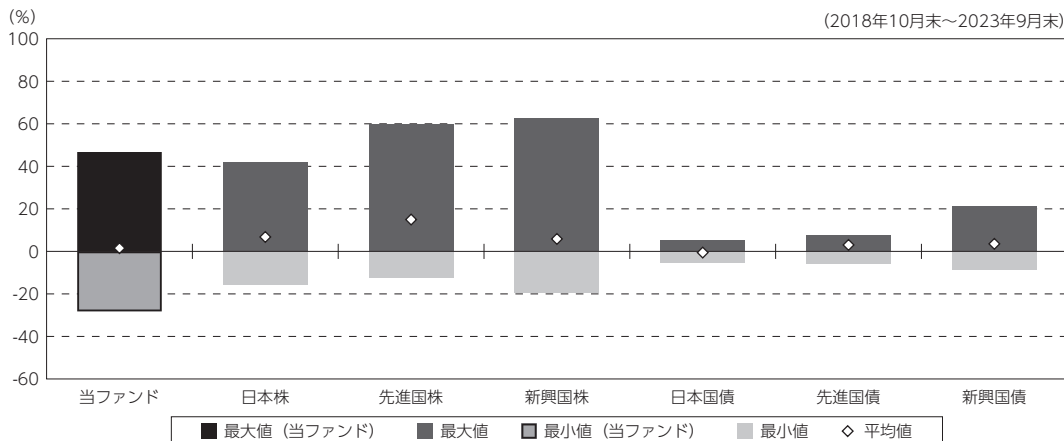
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	1998年4月28日（当初設定日）から2023年10月26日まで（当初、無期限）です。	
運用方針	信託財産の長期的成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ欧州ファンド・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	欧州各国の株式
運用方法	[Aコース（限定為替ヘッジ）] ①主としてマザーファンド受益証券に投資し、信託財産の長期的成長を図ることを目的として運用を行います。 ②MSCI欧州株価指数（円ヘッジ指数）をベンチマークとします。 ③組入れているマザーファンドの通貨配分の如何にかかわらず、原則としてマザーファンドのベンチマークの通貨配分をベースに対円での為替ヘッジを行うことを基本とします。	
	[Bコース（為替ヘッジなし）] ①主としてマザーファンド受益証券に投資し、信託財産の長期的成長を図ることを目的として運用を行います。 ②MSCI欧州株価指数（円換算指数）をベンチマークとします。 ③組入れているマザーファンドの通貨配分の如何にかかわらず、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

Aコース(限定為替ヘッジ)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	46.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 28.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	1.5	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指標

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA - BPI 国債

先進国債 FTSE 世界国債指数 (除く日本、円換算)

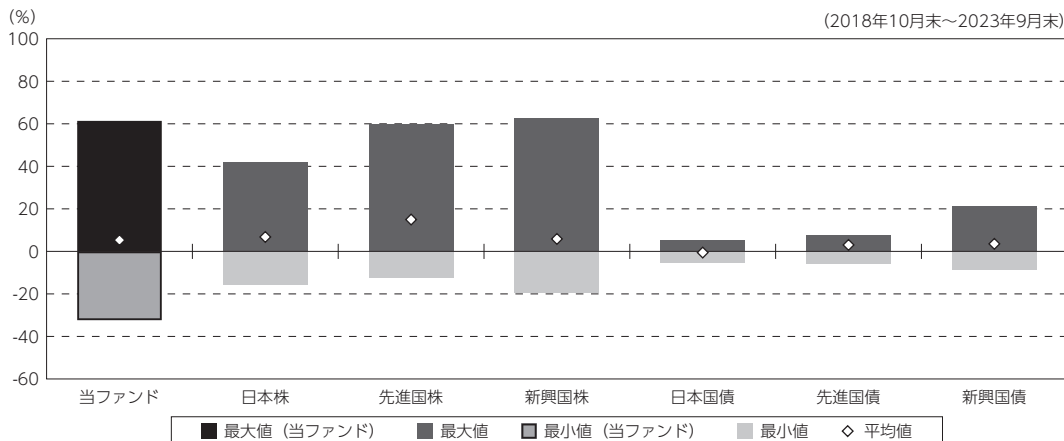
新興国債 JP モルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

Bコース(為替ヘッジなし)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	61.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 32.4	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.3	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指標

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA - BPI 国債

先進国債 FTSE 世界国債指数 (除く日本、円換算)

新興国債 JP モルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

当該投資信託のデータ

Aコース(限定為替ヘッジ)

当該投資信託の組入資産の内容

(2023年10月26日現在)

2023年10月26日現在、有価証券等の組入れはございません。

純資産等

項 目	第51期末(償還日)
	2023年10月26日
純資産総額	107,055,152円
受益権総口数	108,766,097口
1万口当たり償還価額	9,842円70銭

(注) 当期中における追加設定元本額は932,119円、同解約元本額は17,229,780円です。

Bコース(為替ヘッジなし)

当該投資信託の組入資産の内容

(2023年10月26日現在)

2023年10月26日現在、有価証券等の組入れはございません。

純資産等

項 目	第51期末(償還日)
	2023年10月26日
純資産総額	822,248,948円
受益権総口数	637,364,559口
1万口当たり償還価額	12,900円76銭

(注) 当期中における追加設定元本額は13,266,921円、同解約元本額は122,997,226円です。

指数に関して

○ 「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) :

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) に帰属します。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み) :

MSCI コクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■ MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み) :

MSCI エマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA – BPI 国債 :

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■ FTSE 世界国債指数 (除く日本) :

FTSE 世界国債指数 (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイド :

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。